

# あんしん浜野だより



## 認知症の相談が増えています



認知症についての相談が令和6年は130件、令和7年は143件と年々増加しています。また、警察から徘徊や行方不明の問い合わせが去年は8件、今年に入ってからすでに7件も連絡が入っています。本人やご家族だけでなく、地域で暮らす方々からの相談も寄せられており、認知症への関心や支援の必要性が高まっています。こうした状況を受け、千葉市では認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、さまざまな取り組みを行っています。

## どこシル伝言板®

### どこシル伝言板® とは？

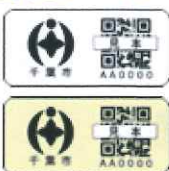
衣服や持ち物等に貼ったQRコードを読み取ると、インターネット上の伝言板が表示されます。QRコードの読み取り時や伝言板への書き込みがあった際など、保護者へ瞬時にメールが送信されます。伝言板のやり取りでは個人情報を開示することなく「発見～保護～ご家族への引き渡し」まで安心、安全、迅速に行えます。



### どこシル伝言板® の特徴

#### 耐洗ラベルと蓄光シール

家庭用洗濯機で200回以上の耐久性がある耐洗ラベル。反射材と違いライトがなくても、自ら光を蓄めて放つ蓄光シールをご用意。



#### 引取りまでのご本人のストレス軽減

事前に身体的特徴や既往症、保護時に注意すべきことなど登録しておくことで、発見者がQRコードを読み取った際、対処方法がわかるようになっています。引取りまでの間、ご本人がストレスなく安楽に過ごしていただくことができます。

#### 発見～引取りまで迅速に

発見者によるQRコードの読み取り、現在位置の送信やご本人の状況の入力があれば、瞬時にご家族(事前登録の最大3名)へメールが送信されます。夜間でも発見通知が来るため、24時間365日やりとりが可能です。

#### ご本人への声かけをスムーズに

ラベルやシールにはQRコード・識別番号・自治体名とロゴマークが記載されています。認知症の方だと気づいてもらいやすくなり、発見者が声をかけるきっかけになります。

#### 特別なアプリ等は必要なし

特殊な装置やアプリ等は必要ありません。登録～伝言板のやり取りまでスマートフォンさえあればすべてのやりとりが行えます。

#### 個人情報は表示されません

伝言板を使用してやりとりするので、個人を特定する情報は必要としません。氏名や住所、連絡先の記載は不要なので、個人情報の漏洩の心配はありません。

## ～徘徊高齢者SOSネットワーク～

高齢になると、記憶力や判断力が低下し、道を間違えたり、自分の家がわからなくなることがあります。認知機能の低下により行方不明となった場合に、その情報を市の関係機関に提供し、早期発見・早期保護を図る千葉市認知症等行方不明SOSネットワークを実施しています。

### SOSネットワークのしくみ

①認知症による行方不明者の家族等が、最寄りの警察署へ捜索依頼をするとともに、SOSネットワーク利用の申請をします。



②警察署は地域包括ケア推進課にSOSネットワークによる発見の依頼をします。



③地域包括ケア推進課は、関係機関（各区保健福祉センター等）へ発見の協力を依頼します。



④関係機関が行方不明者を発見した場合は、警察へ連絡します。発見によりネットワークは解除となります。



## 第4回 市民向け講座 はじめての終活基礎講座

～想いを伝えるメッセージノート～

人生100年時代。「終活」について考えてみませんか？  
元気な時に「終活」をして人生の後半戦をもっと楽しくできるよう準備をしましょう。

**日 時：**令和 8年 11月 27日（金）  
午前 10時～ 11時30分  
（受付 9時30分～）



**場 所：**千葉市役所 1階正庁

**講 師：**イオンライフ株式会社 本郷 由美 様

**費 用：**無料 定員 70名（事前予約制）

**申込み：**あんしんケアセンター浜野まで

千葉市あんしんケアセンター浜野 ☎043-305-0102

JR浜野駅西口徒歩2分 〒260-0824 千葉市中央区浜野町891

（受付） 月曜日～土曜日 午前9時～午後5時

※千葉市あんしんケアセンターは、千葉市から委託を受けた高齢者の総合相談窓口です。

令和8年10月 千葉市あんしんケアセンター浜野発行